

## 本書の特色

この本は、中学1年生の冬休みまでの学習内容を中心に構成されたテキストです。

各課とも、最初の2ページのポイントと例題で重要な内容を押さえ、次の2ページの演習問題で実力を定着させる…という流れになっています。また、語句も読解問題と並行して学習できます。一課に一枚の別冊確認テストがついています。各課の理解度チェックに役立ててください。講習準備テストを使用することで、講習を受ける前の実力をチェックすることができます。最後には、総合確認テストで学習の成果を確認しましょう。

## 本書の使い方

- **ポイント・例題**……その課で学習する内容と基本的な問題を取りあげています。
- **演習問題**……ポイント・例題で学習した内容をもう一度確かめるための演習問題です。「思考力問題」には◎をつけています。
- **語句問題**……読解問題が一課終わったら、語句問題も一回分取り組むようにしています。
- **総合問題**……本書の総まとめの問題になっています。

## もくじ

## 国語中1

1	説明的文章(1)	2
2	説明的文章(2)	6
3	小説文	10
4	随筆文	14
5	古典	18
6	詩歌	22
7	情報・作文	26
8	文法	30
《語句問題》		
1	漢字の成り立ち	34
2	部首	34
3	同訓異字	35
4	同音異義語	35
5	熟語の構成	36
6	類義語	36
7	対義語	37
8	慣用句・ことわざ	37
	総合問題	38

## ポイント

## 1 資料の種類

資料にはいろいろな種類がある。それぞれの特徴と内容を読み取るために、注目するべき点を理解する。

- (1) スピーチ原稿…ある事柄や問題について自分の意見を述べている。
- ① 書き手（話し手）の意見とその根拠や理由、具体例を捉える。
- ② 構成に注意して読む。

〈構成のパターン〉

・はじめ（導入）、中（本論）、終わり（まとめ）で組み立てられていることが多い。

・「意見」と「根拠（事実）」の区別をする。

- ③ 資料がある場合

スピーチ内容をわかりやすく説明するために、表やグラフを用いる場合がある。表やグラフから特徴的な項目を読み取る。

- (2) ポスター…ある事柄を、多くの人へ伝えている。

- ① 伝えようとしているテーマを理解する。

例 コンサート開催のお知らせ

- ② 伝えようとしている情報を把握する。

例 コンサート開催の日時、場所、チケット代、など

- ③ 掲載されている写真や絵にも注目する。

例 コンサートが開催される会場周辺の地図など

- (3) 新聞…調べたことや体験したことなどを、多くの人へ伝えている。

- ① 取り上げられているテーマを読み取る。

5W1H（いつ・どこで・だれが・何を・なぜ・どのように）に注目する。

- ② 構成に注意して読むと理解しやすい。

〈構成のパターン〉

- a. 見出し…大見出しと小見出しがある。
- b. リード文…記事のポイントをまとめたもの。
- c. 記事…取り上げた話題の詳しい内容。
- d. 写真…写真についている説明の内容を把握し、使用されている意図を考える。

- (4) 表・グラフ…表やグラフから読み取ることができる内容をもとに意見を述べている。

表やグラフからは、表の値の大きさの違い、グラフの変化の仕方などを読み取る。

- ① 表の値が最も大きい、あるいは小さいところに注目する。
- ② グラフの傾きが大きく変化している、あるいはほとんど変化がないなど、グラフの傾きに注目する。特に大きな変化が表れている部分には注意する。

## 2 表現に注目

- ① 意見を述べている表現

「〜と思う。」「〜は……すべきだ。」

- ② 分類、順序の表現

「二つ目は〜、二つ目は……」「例えば〜」「一方、〜それに対して……」

- ③ 理由の表現

「なぜなら〜だからだ。」「〜だから……だ。」

- ④ 結論の表現

「つまり〜」「したがって〜」「要するに〜」

例題

【ポスターの下書き】

鈴木さんが書いた次の【ポスターの下書き】と、それについて出された【意見】を読んで、あとの問いに答えなさい。

A

生徒会からのおしらせ

9月30日に行われる文化祭で美術室に「作品展」のコーナーを作ります。

出品希望の方は応募のうえ、作品を提出してください。作品は生徒が制作したものとします。また、個人、グループ制作のどちらでも応募できます。

<募集作品>

- ・ 作品の種類…絵、手芸作品、工芸品など
- ・ B

<締め切り>

- ・ 応募…9月5日16時まで  
応募用紙は生徒会室にあります。
- ・ 作品の提出…9月20日12時まで

【意見】

(川野さん)

個人でもあるかもしれませんが、グループ制作の場合、大きい作品を作ることでもできます。しかし、展示スペースがあまり広いくないので、縦・横・高さそれぞれ一メートル以内など大きさの制限を書き加えたほうがよいと思います。

(大野さん)

文化祭が近づくと、クラスごとのステージ発表の練習などもあるので、とても忙しくなります。すでに作品を持っている人は応募しやすいですが、これから制作することは大変です。作品を持っていない人が、忙しいけれどもこれから作りたいと思えるような呼びかけや工夫があるとうよいと思います。

(高田さん)

応募用紙や作品をどこに提出すればよいのかがわかりません。書き加えなくてもよいのでしょうか。

(鈴木さん)

応募用紙に書いておくので、ポスターに書かないでよいでしょう。

□(1) 【ポスターの下書き】の A にあてはまる表題として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 美術室の作品について

イ 生徒会室の応募用紙について

ウ 文化祭「作品展」の作品募集について

エ 文化祭の作品の制作について

□(2) 川野さんの意見を反映させ、大きさの制限があることをポスターに書き加えることにしました。B にあてはまる内容を「大きさ…」に続けて書きなさい。

大きさ…

□(3) 応募用紙に書き入れてもらう事項として適切なものを次から全て選び、記号で答えなさい。

ア 制作費用      イ 材料を購入した店名      ウ 販売価格

エ 制作者名      オ 作品名

□(4) 大野さんの意見の——線「忙しいけれどもこれから作りたいと思えるような呼びかけや工夫」とありますが、その例として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 時間ができたら制作してみよう。

イ 自分だけの作品を制作してみよう。

ウ 制作のために始業前と昼休みに美術室を開放します。

エ 作品を制作するのは楽しいですよ。

□(5) 【ポスターの下書き】と【意見】にある内容として適切でないものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 作品は何人かが協力して制作してもよい。

イ 文化祭が近づくとステージ発表の練習で忙しくなる。

ウ 応募用紙は生徒会室にある。

エ ポスターに作品の提出場所を書き入れることになった。

1 クラスでの学習発表会で、山本さんは、気候変動に関する発表を行うことにしました。次は、山本さんが発表のために用意した【資料】と【発表原稿】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料】

表1 日常生活の中で感じる気候変動影響（％）

夏の暑さ	89.8
雨の降り方の激しさ	81.6
桜の開花時期など身近な植物の変化	38.5
冬の寒さや雪の降り方	36.8
セミの種類・鳴き声など身近な動物の変化	24.1
その他	5.9
特に感じない	1.4

（内閣府「令和2年度 気候変動に関する世論調査」より作成）

表2 真夏日・猛暑日の30年ごとの平均年間日数の変化（全国）

	1910～1939年	1991～2020年
真夏日平均年間日数	約35日	約41日
猛暑日平均年間日数	約0.8日	約2.5日

・真夏日…日最高気温30℃以上  
 ・猛暑日…日最高気温35℃以上  
 （気象庁ホームページより作成）

【発表原稿】

現在、さまざまな環境問題が発生しており、その一つとして気候変動の問題が挙げられます。気候変動とは長期間にわたって見たときに、気温や降水量など気候が変化していることをいいます。気候変動は自然の要因で起きることもありますが、現代では主に石油や石炭などの化石燃料使用が引き起こす地球温暖化が問題視されています。私は、気候変動の話題によくふれるうちに、私たちの生活に具体的にどのような影響が出ているのだろうかと思い、私自身もそこで、人々の意識を調査した結果や気候の変化を示す資料を調べてみました。まず、人々が日常生活の中で感じる気候変動の影響にはどのようなものがあるのか、現状を考えたと思います。表1では、「特に感じない」の数値は1.4%となつ

ています。多くの人が気候変動で何らかの影響があると感じているといえます。10  
 日常生活の中で感じる気候変動の影響としては、「A」を挙げる人が最も多く、その数値はB%となっています。つまり、夏の間の気温が昔と比べると高くなっていると感じる人や、暑すぎて困っている人が多いといえそうです。では実際には昔と比べてどう変化したのか、気象庁のホームページで調べて

みました。表2は、統計をとりはじめた最初の三十年間である一九一〇年から一九三九年と、最近の三十年間である一九九一年から二〇二〇年の真夏日と猛暑日の平均年間日数を示しています。一日の最高気温が30℃以上になる真夏日の年間日数は最初の三十年間は平均約35日でしたが、最近の三十年間では41日で、最初の三十年間の約1.2倍になっています。また、一日の最高気温が35℃以上になる猛暑日の年間日数は最初の三十年間は約0.8日でしたが、最近の三十年間は約2.5日で、最初の三十年間の約3.1倍に増加しています。猛暑日の日数が非常に増加しているといえます。気象庁のホームページでは、このことの要因の一つとして地球温暖化を指摘しています。また、都市化した地域ほど、気温の上昇は激しいようです。

今回調べてみると、人々の感じる気候変動の影響について、具体的な数値でも示すことができるようになりました。夏の暑さだけではなく、その他の項目についてもより詳しく調べてみたいと思います。また、地球温暖化を防ぐための方法についても学びたいと感じました。

□(1) 山本さんが、調査を行うきっかけを述べた一文を【発表原稿】の中から探し、初めの五字を書き抜きなさい。（句読点も字数に含む。）

□(1) \_\_\_\_\_

□(2) ———線「多くの人が気候変動で何らかの影響があると感じているといえます」の理由を【発表原稿】の言葉を使って書きなさい。

□(2) \_\_\_\_\_

